

2004.9.3  
柵屋作成

## 川上ダム関係検討メモ (淀川部会の議論から)

### I. ダム建設の目的 (詳細略)

- ・治水：上野地区の浸水被害の低減
- ・利水：三重県・奈良県・西宮市
- ・発電：三重県

### II. 治水関係

#### 1. 降雨量と河川流量

検討のための基本的な条件を明確にする必要がある。

##### (1) 降雨パターン

- ・実績降雨の採用・・・総雨量、雨量の時間推移、地域分布
- ・実績以外に最近の極端な降雨状況をどう考えるか。

##### (2) 河川流量

- ・上野地区には、川上ダム地点から以外に、木津川・服部川・柘植川が流れ込んでいる。このことを浸水被害の想定にあたりどう評価するか。
- ・降雨の地域による分布の違いと各河川流量への影響。

#### 2. 堤防関係

- ・破堤・越水の条件として、下記の3条件が示されている。  
「堤防天端の余裕高で破堤」「堤防天端で破堤」「堤防天端で破堤せず越水」
- ・上記の条件によって被害が異なり、ダム等治水対策全般に大きな影響がある。今後の検討と対応をどうすべきか。
- ・上野地区の堤防はどうなっているか。
- ・従来から問題としてあげている「越水しても壊れない堤防」についての検討はどうなっているか。

#### 3. 洪水による被害の想定

被害想定項目として、「氾濫量・氾濫面積・床下浸水戸数・床上浸水戸数」が挙げられているが、ほかに、「経過時間」「田畑の浸水面積」「家屋や田畑の被害額」「人的被害」なども必要ではないか。

### III. ダム代替案の検討状況

遊水地等の検討結果について

### IV. 利水関係の精査状況

三重県の検討状況は次ページ  
奈良県・西宮市は精査中

### V. 環境への影響、環境への対応

どうしても残しておかなければならない環境はあるのか。

## 三重県伊賀水道用水供給事業の水需要精査状況の要約

### 1. 水需要の見直し (単位：m<sup>3</sup>/日)

	現計画	見直し計画
合計	48,500	28,500
上野市	32,800	19,400
伊賀町	6,000	2,850
阿山町	4,100	2,900
青山町	4,000	2,450
島ヶ原村	1,000	650
大山田村	600	500

給水人口	約 120,000	91,888	(人)	上記算定の根拠
1人当り給水量	約 305	278	(L/人/日)	同上

### 2. 水需要の現状と予測及び水源

#### (1) 水需要:現状と予測 (単位：m<sup>3</sup>/日)

	H14	H20	H30	(注 1)
生活用	21,912	23,326	25,514	
業務・営業用	7,129	7,129	10,116	(注 2)
工場用	2,810	8,749	9,346	(注 2)
その他	785	876	876	
無収水量	622	622	711	
有効水量	33,256	38,588	46,563	
無効水量	6,074	6,162	3,523	
平均給水量計	39,332	41,750	50,866	
負荷率	81.3	79.6	80.0	
最大給水量	48,383	52,458	62,633	
水源計	48,383	54,462	62,633	
自己水源	48,383	54,462	34,069	
ダム	910	1,435	1,200	
表流水	16,300	18,686	7,504	(注 3)
伏流水	744	778	778	
浅井戸	27,676	30,196	22,537	
深井戸	2,733	3,367	2,000	
県水受水	0	0	28,500	(注 4)

注 1 H14：実績 H20：県水受水なし最終年 H30：計画最終年

注 2 需要増が著しい項目

業務・営業用：：保育園、福祉施設、教育施設、交流センターなど

工場用： 工業団地など

注 3 県水受水までは、暫定豊水水利権約 7300m<sup>3</sup>/日あり

注 4 H21 より県水受水開始見込み(川上ダムを予定)